

水博士になろうペットボトル・いか水ロケット宙に舞う（三島市立沢地幼稚園）

11月6日10時から沢地幼稚園の年長組（30人）と年中組（29人）を対象に「水環境教育」出前講座を行った。園児は映像による水の循環の講座で水の大切さを学び、園庭で各園児の手作り「ペットボトル・いか水ロケット」を空高く舞い上がらせ、園児も先生も飛び上がって喜んだ。

この水ロケットは、塚田冷子会長、小松幸子副会長、岩田重理理事、中西康徳理事、小浜修一郎理事と遊水匠の会の江上泰さんの指導で完成。1人1人ペットボトルに10本の足を付けての「いか水ロケット」、園児の名前を書いて発射場に向う。エンジンと称するノズルを取り付け、燃料用に水をボトル半分くらい入れ発射台に取り付け空気入れて空気（ガス）を注入する。園児全員でカウントダウン「5・4・3・2・1・発射」。発射機のスイッチを入れると空高く水を噴射して舞い上がる。

園児1人1人が自分で発射し、大はしゃぎ。「すげえ

～おもしろかった。また来てね」と挨拶をした。また、「よ～くかんがえよう～みずはだいじだよ！」と全員で合唱し、記念撮影をして終了した。水講座では全園児で「みずはどこからくるの～」と水の循環とダム必要性について、ダム作りの名人と言われるビーバーのアニメビデオで熱心に勉強した。

この園児たちは大人になってからも、水の大切さと水ロケットのモノづくりの楽しさ、おもしろさを思い起こしてくれるでしょう！



阿蘇湧水群と三連水車視察の旅

（平成18年6月22～24日）

〈参加者〉中西康徳 宇水勉 大村洋子 小松幸子 秋山峰治 山岡修一・節子

福岡空港へ降り立つとレンタカーを借りて柳川へ向う。ドブ川だった掘割を水郷柳川として復活させた広松伝さんの奥様が出迎えてくださる。広松さんは15年前、三島ゆうすい会の招きで来島、映画と講演くださった方だが、平成14年5月15日、64歳で急逝されており、お墓参りの後、川下りで遺徳を偲んだ。（福岡県）

2日目は阿蘇山周辺の白川水源、取高森水源の湧水群



△三連水車の前で

を視察。案内くださったのは阿蘇谷人博物館の梶尾館長で、水系や人との関りについて詳しく説明くださる。至る所に湧水があり生活に密着している。（熊本県）

次に瀧廉太郎の「荒城の月」で知られる竹田の水路巡りは、水辺ガイドの中村さんに案内いただく。江戸時代の家並が残りに、水利という昔の人の知恵を学ぶ。（大分県）

夕刻、九州の小京都と呼ばれる天領・日田の「ひた水環境ネットワークセンター」を訪問。子どもたちに泳げる川を！の活動を諫本理事長が丁寧に説明くださる。展示、映像、資料がきちんと揃っているのに感心させられる。

3日目は水郷日田の町並ガイドの案内で古い家並みを散策し朝倉の三連水車に向う。（福岡県）。国指定史跡となっている水車は筑後川の疎水、堀川から田畑に給水している。1662年から現在まで現役として働いており、その力強い動きに皆感動した。九重、三島二連水車等の水車群が見られた。

今回の旅は、行く先々で案内くださる方を探し、短い時間の中で、中味の濃い説明が受けられた。水と歴史と風土をこよなく愛する方々にめぐり会えた事も良い勉強になった。 山岡修一 記

2006年 「ル」講座・秋の水勉強会

●「三島の水勉強会」

9月26日、講師に三島市役所水道工務課の露木芳彰課長補佐と水道管理係の瀬川俊昭係長を迎えて、三島の水についての勉強会を塚田冷子会長宅で行いました。当日の出席者は、



△三島の水は大切にしくちゃ!

塚田冷子会長、小松幸子副会長、水野幾子理事、岩田重理理事、佐藤久美子理事、中西康德理事、佐伯忠夫理事、大村皖伸さん、柴原俊介さん、宇水勉さん、志村肇顧問でした。

勉強会では、「伊豆島田浄水場」の説明と飲み水をつくるしくみ、三島の水道水のおいしさの秘密、水温、pH、残留塩素、硬度過マンガン酸カリウム消費量、臭気強度、遊離炭素などについて学びました。厚生労働省が決済)る“おいしい水”、よりも三島の水は基準をクリアしていることが分かりました。

2時間あまりの時間をかけて水について学び、今後も三島の水を大切にしていきたいと改めて感じました

●水辺の文学碑

10月19日、日本大学元教授・藤岡武雄先生を講師に招き「水辺の文学碑」の勉強会を行いました。三島市役所大社町別館に一般の方や三島市ふるさとガイドの会の方も多数参加くださいました。



水辺の文学碑は三島ライオンズクラブの記念事業で本年までに11基が

桜川の水辺に建設されました。三島の湧水をまのあたりにされた文人や、旅人の驚き、また、三島近在に居を構えていらした方々のすばらしい感性をもって表現された文章詩歌を藤岡先生がお選びになったものです。

裏話も楽しいお話でした。太宰治のよく通った三島で最初のコーヒー喫茶「ララ」さんとのこと。「満願」のモデルの今井直さんのお話。また、若山牧水は、「足音を忍ばせてゆけば台所に我が酒の瓶は立ちて待ちおる」とうたわれたように好物がお酒だったようです。塚田冷子会長の義父静保氏は、頭痛薬、風邪薬を何回も処方してやっていたようです。お話に引き込まれ、笑い過ぎて9時になってしまい、いつか、続きをお聞きしたいと思いながら終わらせていただきました。ありがとうございました。



△詳しく楽しい講義をされる藤岡武雄先生

●地質学的にみた湧水の水勉強会一御殿場泥流と

三島湧水の意外な関係一

11月11日、工藤地質研究所の工藤周一先生(理学博士)をお招きし、地質学からみた三島湧水について学ぶ勉強会を実施しました。

本来、この日は三島市内の「湧水めぐり」の野外活動の予定でしたが、雨天のため急きょ予定を変更し、塚田冷子会長宅を会場とした座学の勉強会としたものです。朝8時30分から始まった勉強会には本会会員やその知人など14名のほか、三島湧水の調査に訪れた東京大学の大学院生1名が参加しました。

工藤周一先生を講師としてお招きするのは、本年3月の本会総会での講演会につづき2回目となります。

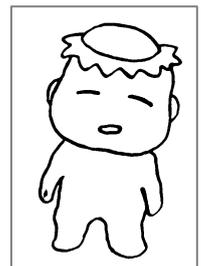


△御殿場泥流の説明をする工藤周一先生(右)

今回の勉強会では、三島市内やその周辺の湧水が見られる地質構造や、溶岩(岩石)の種類などとともに、三島市街地の御殿場泥流と湧泉の関係について、さらに詳しく学びました。工藤先生は、昔の地形がよく表れている明治20(1888)年の地図と実際の現地調査の結果を比較・分析した資料を示しながら、三島湧水は富士山からの溶岩流の上にある御殿場泥流にも支えられているということの説明をしました。参加者からも多くの活発な質問があり、とても有意義なひと時となりました。

この日の勉強会の終了間近になって、ようやく雨が小降りになったため、参加者一同は白滝公園内に移動し、工藤先生の案内で御殿場泥流が地表にあらわれている露頭を見学しました。

「このように、自然のままに御殿場泥流が地表に現れている場所は貴重であるが、風化の心配だけでなく、その貴重さを知らない人に崩されてしまうおそれもある」とのお話で、参加者からは「三島市の地質遺産」として保存したいと声があがっていました。



活動あれこれ

● 溶存酸素測定器の勉強会

三島ゆうすい会では溶存酸素測定器を購入し、8月6日(日)塚田邸において、この溶存酸素測定器の使用方法等の勉強会を行いました。塚田冷子、小松幸子、坂井良重、坂井尊、宇水勉、大村洋子、大村皖伸が参加しました。水の「きれいさ」を表すには幾つかの方法があります。「透明度」はどのくらい透き通っているかを表しますし、電気的にどれだけ純粋な水かを表すには「電気伝導度」があります。生物の死骸などの有機物(成案化合物)をどれだけ含んでいるかの指標にはBOD(生化学的酸素要求量)やCOD(化学的酸素要求量)があります。

溶存酸素量(DO)は水中にどれだけ酸素が



△ 蝉時雨の中での勉強会

溶け込んでいるのかを示す値で、これも水の「きれいさ」を表す値です。特に、魚類が生育できるかどうかを知るためにも溶剤酸素量は大事な値です。水温が上がると、普通、溶剤酸素量は低下します。夏場、急激に暑くなるとちょっと汚れた池や川で魚がアップアップして浮いてしまうことがありますが、これは急に溶剤酸素量が減ってしまい呼吸ができなくなるためです。



△ 結果を見つめる目も厳しい

今後、定期的な水質検査などでこれを活用し、充実した湧水保全活動の一助としたいと考えています。

下記は各温度の飽和溶剤酸素量です。

水温 (1気圧)	0℃	10℃	20℃	30℃	40℃
溶剤酸素量 (mg/l)	14.11	10.92	8.84	7.53	6.59

第1回三島市ボランティアフェスティバルに参加

11日3日(金・祝)に、第1回三島市ボランティアフェスティバルが三島市民活動センター及び本町タワー前で開催されました。フェスティバルは、セレモニー、団体紹介、展示コーナー、フリーマーケット、交流会などがあり三島市NPO・ボランティア連絡会に参加している多くの団体の方々や、市民でにぎわいました。

三島ゆうすい会は、展示コーナーに写真で活動の様子を紹介しました。1団体が使用できるパネルは、B2(縦76cm×横54cm)のスペースで、湧水の豊富だった時代の三島で撮影された映画「坊っちゃん」の「水よ輝け!映画祭」の開催や、水に関する先進地・九州への視察旅行、向山小学校等への水の学習・出前講座、各種「水の勉強会」等を紹介しました。



展示を終えて来場者を待つ塚田冷子会長(右)と小松幸子副会長

児童生徒訪問・出前講座

10月2日(火)午後、三島市立中郷中学校の1年生5名が、調べ学習(楽寿園、伊豆国分寺、言成地蔵、時の鐘)の途中、塚田冷子会長宅へ立ち寄りしました。ホテルの幼虫やミシマバイカモの小さな花を初めて見たという生徒もいて、塚田会長の話を熱心に聞きました。やがて水琴窟の音色に耳を傾け、いやされる音だと感心して次の目的地へと向かいました。

また、7月4日(火)三島市立向山小学校の児童への出前講座や、11月2日(木)日本大学三島中学校の生徒訪問などもありました。学校ごとに児童生徒の感想文なども届けられ、次世代への期待が高まります。



お知らせ

七草粥(ななくさがゆ)を食べに行こう

日時 2007年1月7日(日)11時30分～

場所 塚田神経科医院お庭

七草の話聞いて、七草粥を食べて、わらべ唄を歌いましょう。

詳しくはチラシをご覧ください。

2006年の様子

「北伊豆震災と三島の復興 写真集」

平成17年11月12日に、「三島ゆうすい会」上映「坊っちゃん in 三島・水よ輝け!映画祭」では、富山からの湧水が豊富だった三島の風景が映し出されていきました。多くの方にご鑑賞いただき三島への熱い思いを知ることができました。

そこで、東海沖大地震の発生が心配される昨今、昭和5年11月26日に起きました北伊豆地震の惨状から力強く立ち上がった三島人の思いと、心の準備、復興への心構えを、三島ゆうすい会では写真集という形にしました。

近日中に発行予定。楽しみにお待ちください。

今後の予定!

【定例活動(作業等)】

●源兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜13:00～水の苑緑地・かわせみ橋集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参「源兵衛川を愛する会」とともに



△「源兵衛川を愛する会」清掃風景

●桜川情婦

原則として毎月第1土曜10:00～

白滝公園集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜10:00～三島梅花藻の里集合 長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

★ いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください!

雨天時は原則としてお休みです

会費・ご寄付・資機材支援

★皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

●会費ご入金

本年度会費(平成18年分)の納入にご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます

来年度会費につきましては、改めてお知らせいたします。

〈年会費食額〉

- ・正会費 3,000円
- ・賛助会費1口 10,000円

〈お振踏み先〉

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名:三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
- ・三島信用金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名:三島ゆうすい会
会長 塚田冷子